

R7 園全体の自己評価

お名前 *

旭川宮前保育園

I. 子どもの発達援助

1. 発達援助の基本

(1)保育計画が、保育の基本方針に基づき、更に地域の実態や保護者の意向等を考慮して作成 *
されている。

a

b

c

(2) 指導計画の評価を定期的に行い、その結果に基づき、指導計画を改定している。 *

a

b

c

(3) 一人一人の子どもの発達状況に配慮した指導計画となっている。 *

- a
- b
- c

(4) 一人一人の子どもの発達状況、保育目標、生活状況についての記録があり、それぞれの子どもに関係する全職員に周知されている。 *

- a
- b
- c

(5) 一人一人の子どもの発達状況、保育目標、保育の実際について話し合うためのケース会議を定期的かつ必要に応じて開催している。 *

- a
- b
- c

備考

指導案作成や計画の都度見直し、LINE WORKS等での情報共有、会議の仕組み化はできている。今後の課題として、個別指導計画の評価を次期計画へ連動させること、早番や週数日の非常勤職員へも均等に情報が渡る体制づくり、行事期でも保母会議を安定して開催できる工夫に注力していく。

2. 健康管理・食事

(6) 登園時や保育中の子どもの健康管理は、マニュアルなどがあり、子ども一人一人の健康状態に応じて実施している。 *

- a
- b
- c

(7) 健康診断の結果について、保護者や職員に伝達し、それを保育に反映している。 *

- a
- b
- c

(8) 感染症への対応については、マニュアルがあり、発生に際しては、その状況を必要に応じて保護者に連絡している。 *

- a
- b
- c

(9) 専門医から指示があった場合において、アレルギー疾患をもつ子どもの状況に応じて適切な対応を行っている。 *

- a
- b
- c

(10) 日々の献立を保護者に示すとともに、必要に応じて、子どもの喫食状況を保護者に知らせている。*

- a
- b
- c

(11)食事を楽しむことができる工夫をしている。*

- ア 食事をする部屋としての雰囲気づくりに配慮している。
- イ 食器の材質や形などに配慮している。
- ウ 個人差や食欲に応じて、量を加減できるよう工夫している。
- エ 子どもの負担になるほどに、残さず食べることを強制したり、偏食を直そうと叱ったりしていない。
- オ 子どもが落ち着いて食事をとれる楽しめるように工夫している。
- カ 時には戸外で食べるなどの工夫がある。
- キ おやつは、手作りを心がけている。
- ク 旬のものや季節感のあるものを多く取り入れている。
- ケ 嗜好調査や喫食状況に基づき食事内容を改善している。
- コ 子どもが育てた野菜などを料理して食べることがある。
- サ 子どもが配膳や後片づけなどに参加できるよう配慮している。
- シ 調理作業をしている場面を子どもたちがみたり、言葉を交わしたりできるような工夫を行っている。

- a
- b
- c

備考

健康管理・食事の場面では、職員が共に食べることで子どもの食べる意欲を引き出すなど、個々の発達に合わせた配慮が概ねできている。今後は、こうした食事場面での良好なアプローチや個々の姿を指導計画の記録にしっかりと落とし込み、他の生活・遊びの場面における計画策定にも活かしていくことで、さらなる改善を図る。

3. 保育環境

(12)子どもが心地よく過ごすことのできる環境を整備している。*

- ア 採光に配慮している。
- イ 換気に配慮している。
- ウ 各部屋に湿温計などがあり、温度・湿度に配慮している。
- エ 手洗い場、トイレは、保育中も時折り清掃し、不快なおいがないようにしている。
- オ 寝具の消毒や乾燥を定期的に行っている。
- カ 屋外の砂場や遊具の衛生面に配慮している。

- a
- b
- c

(13)生活の場に相応しい環境とする取組みを行っている。*

- ア 子どもが不安になったりした時にいつでも応じられるように、保育者が身近にいる。
- イ 一人一人の子どもがくつろいだり落ち着ける場所がある。
- ウ 眠くなった時に安心して眠ることができる空間が確保されている。
- エ 食事のための空間が確保されている。
- オ 季節にあわせてインテリアが工夫されている。
- カ 配色に配慮した保育室となっている。
- キ 音楽や保育者の声など、音に配慮している。
- ク 屋外での活動の場が確保されている。

- a
- b
- c

備考

採光・換気・温湿度の管理、定期的な清掃により、常に衛生的で心地よい環境を維持できています。また、保育者が身近に寄り添うことで安心感を提供できている。

今後は、子どもが賑やかな場所から離れてリラックスできる「絵本コーナー」の充実に加え、「小ホール」の空間も有効に活用し、冬場でも十分に身体を動かして気分転換ができる環境を整えていきたい。室内での「静」と「動」の活動をバランスよく保障しつつ、配色や音、季節に応じた環境構成をさらに洗練させ、保育の質の向上に努める。

4. 保育内容

(14)子ども一人一人への理解を深め、受容しようと努めている。 *

ア 子どもに分かりやすい温かな言葉づかいで、おだやかに話している。

イ 「早くしなさい」とせかす言葉や「だめ」「いけません」など制止することばを不必要に用いないようにしている。

ウ 子どもの質問に対して、「待ってて」「あとで」などと言わずに、なるべくその場で対応している。

エ 「できない」「やって」などと言ってくる子どもに対して、その都度気持ちを受け止めて対応している。

オ 登園時に泣く子どもに対して、放っておいたり、叱ったりするのではなく、子どもの状況に応じて、抱いたり、やさしく声をかけたりしている。

カ 「いや」などと駄々をこねたり、自分を表現する力が十分でない子どもの気持ちをくみとろうとしている。

a

b

c

(15)基本的な生活習慣や生理現象に関しては、一人一人の子どもの状況に応じて対応している。*

ア トイレに行くことをせかしたり、一斉に強制したりせずに、一人一人のリズムに合わせるようにしている。

イ おもらしをしたときに、その都度やさしく対応し、子どもの心を傷つけないよう配慮している。

ウ 衣服の脱ぎ着に際して、せかしたり、着せてしまったりしないで、自分でやりたいという子どもの気持ちを大切にしている。

エ 子どもが自分で着脱しやすいように、衣類の整理の仕方や着方の援助について工夫がみられる。

オ 休息時には、子守歌を歌ったり、背中を軽くたたくなど、安心して心地よい眠りにつけるように配慮している。

カ 休息時間以外でも、一人一人の状況に応じて、眠ったり、身体を休ませたりしている。

キ 休息時間に、眠くない子どもへの配慮をしている。

a

b

c

(16)子どもが自発的に活動できる環境が整備されている。*

ア 子どもの発達段階に即した玩具や遊具が用意されている。

イ 子どもが自由に素材や用具などを自分で取り出して遊べるように工夫されている。

ウ 好きな遊びができるコーナーが用意されている。

エ 子どもが自由に遊べる時間が確保されている。

a

b

c

(17)身近な自然や社会と関われるような取組みがされている。 *

- ア 子どもが動植物に接する機会をつくっている。
- イ 園庭や散歩で拾ってきた葉や木の実など、季節感のある素材を活用している。
- ウ 散歩などで地域の人たちに接する機会をつくっている。
- エ 地域の公共機関を利用するなど、社会体験が得られる機会をつくっている。

- a
- b
- c

(18)さまざまな表現活動が自由に体験できるように配慮されている。 *

- ア 子どもが自由に歌ったり、踊ったりする場面がみられる。
- イ さまざまな楽器を楽しめるようになっている。
- ウ クレヨン・絵具・粘土・紙など、様々な素材を子どもたちが自分で使えるように用意されている。
- エ 子どもの作品が、保育に活かされたり、工夫して飾られたりするなど、大切に扱われている。
- オ 身体を使った様々な表現遊びが取り入れられている。
- カ 絵本の読みきかせや紙芝居などを積極的に取り入れている。

- a
- b
- c

(19)遊びや生活を通して、人間関係が育つよう配慮している。 *

ア 子ども同士の関係をよりよくするような適切な言葉かけをしている。

イ けんかの場面では、危険のないように注意しながら、子どもたち同士で解決できるように援助している。

ウ 順番を守るなど、社会的ルールを身につけていくように配慮している。

エ 日常生活における役割分担などが工夫して取り入れられている。

オ 異年齢の子どもの交流が行われている。

a

b

c

(20)子どもの人権に十分配慮するとともに、文化の違いを認め、互いに尊重する心を育てるよう配慮している。 *

ア 子どもが、自分の意見を保育者などの大人にはっきり言うことができ、他の子どもの気持ちや発言を受け入れられるよう配慮している。

イ 一人一人の子どもの生活習慣や文化、考え方などの違いを知り、それを尊重する心を育てるよう努めている。

ウ 子どもの人権への配慮や互いを尊重する心を育てるための具体的な取り組みを行っている。

エ 子どもの権利擁護に関する研修等に職員が参加している。

a

b

c

(21)性差への先入観による固定的な観念や役割分業意識を植え付けないよう配慮している。 *

ア 「男の子だからめそめそするな」などと、子どもの態度について、性差への先入観による固定的な対応をしていない。

イ 「それは女の子の色」などと、子どもの服装について、性差への先入観による固定的な対応をしていない。

ウ 「それは女の子の遊び」などと、子どもの遊び方について、性差への先入観による固定的な対応をしていない。

エ 「男の子だから家事をすることはない」などと、育児、家事、介護などについて、性差への先入観による固定的な対応をしていない。

オ 「それは男の子の仕事」などと、職業について、性差への先入観による固定的な対応をしていない。

a

b

c

(22)乳児保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる。 *

ア 授乳は、子どもが欲しがる時に、抱いて目をあわせたり、微笑みかけたりしながらゆったりと飲ませている。

イ 離乳食については、家庭と連携をとりながら、一人一人の子どもの状況に配慮して行っている。

ウ おむつ交換時は、やさしく声をかけたり、スキンシップをとりながら行っている。

エ 一人一人の生活リズムに合わせて睡眠をとることができるように、静かな空間が確保されている。

オ 外気に触れたり、戸外遊びを行う機会を設けている。

カ 喃語には、ゆったりとやさしく応えている。

キ 顔を見合ってあやしたり、乳児とのやりとりや触れ合い遊びを行っている。

ク たて抱き、腹這いなど、子どもの姿勢を変えている。

ケ 寝返りのできない乳児を寝かせる場合には仰向けに寝かせている。

コ 特定の保育者との継続的な関わりが保てるよう配慮している。

a

b

c

(23)長時間にわたる保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる。*

- ア 家庭的な雰囲気が感じられる。
- イ 好きなことをしてくつろげる空間や遊具がある。
- ウ 長時間保育を受ける子どもに夕食や軽食が提供されている。
- エ 一人一人の子どもの要求に応じて、抱いたり、声をかけるなど、ゆったりと接している。
- オ 異年齢の子ども同士で遊べるように配慮されている。
- カ 子どもの状況について、職員間の引継ぎを適切に行っているか。

- a
- b
- c

(24)障害児保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる。*

- ア バリアフリーの配慮がみられる。
- イ 障害のない子どもの、障害児への関わりに対して配慮している。
- ウ 障害児の特性に合わせた園での生活の仕方の計画が立てられている。
- エ 障害児保育について保育所全体で定期的に話し合う機会を設けている。
- オ 障害児保育に携わる者は、障害児保育に関する研修を受けている。
- カ 医療機関や専門機関から相談や助言を必要に応じて受けられる。
- キ 保護者に、障害児に関する適切な情報を伝えるための取組みを行っている。

- a
- b
- c

備考

一人ひとりの特性や人権、性差への配慮を前提に、温かな受容と自発性を促す環境構成に努めている。今後は「静」の絵本コーナーや「動」の小ホールを有効活用し、室内でもバランスよく過ごせる環境を強化する。さらに自然・地域との関わりや多様な表現活動を豊かにし、乳幼児や長時間保育の質向上を目指します。

II.子育て支援のセクション

1 入所児童の保護者の育児支援

(1)一人一人の保護者と、日常的な情報交換に加え、個別面談などを行っている。*

a

b

c

(2)家庭の状況や保護者との情報交換の内容が必要に応じて記録されている。*

a

b

c

(3)子どもの発達や育児などについて、保護者と共通理解を得るための機会を設けている。*

a

b

c

(4)虐待を受けていると疑われる子どもの早期発見に努め、得られた情報をもとに速やかに
対処している。 *

- a
- b
- c

(5)虐待を受けていると疑われる子どもの保護者への対応について、児童相談所などの関係機
関に照会、通告を行う体制が整っている。 *

- a
- b
- c

備考

保護者の支援や連携においては、毎日の送迎時のコミュニケーションや連絡帳、年2回実施している個別懇談を通じて円滑に行えています。一方で、保護者側が相談しづらいと感じる事柄や、潜在的なご意見・苦情などについては、まだ十分に汲み取りきれていない可能性もあり、今後の課題と捉えている。また、虐待が疑われる場合は、関係機関に連絡を行い、必要な措置はとれている。

2 多様な保育ニーズへの対応

(6)地域の保育ニーズを把握するための取り組みを行い、それを事業に反映している。*

- a
- b
- c

備考

園開放事業や課外活動における地域住民との交流を通じ、子育てニーズの把握に努めている。「新たな地域子育て支援制度」や「多様な保育ニーズへの対応」は未実施である。今後の地域ニーズの推移を見極めながら、実施の可能性を含めて検討を重ねていく。

3 地域の子育て支援

(7)育児相談など地域の子育て家庭を対象とする子育て支援のための取り組みを行っている。*

- ア 電話やファックスなどによる子育て相談を行っている。
- イ 来園による子育て相談を行っている。
- ウ 育児情報の提供を行っている。
- エ 親子学校など地域の子育て家庭の親子が定期的集まる機会を設けている。
- オ 地域の子育て家庭の親子と園に通っている親子が交流する機会を設けている。
- カ 地域の母子保健活動と連携した取り組みを行っている。

- a
- b
- c

(8)一時保育は、一人一人の子どもの心身の状態を考慮し、通常保育との関連を配慮しながら行っている。 *

- ア 一時保育のための空間の確保に配慮している。
- イ 一時保育のための担当者が決められている。
- ウ 一人一人の子どもの日々の状態を把握している。
- エ 保護者とのコミュニケーションを十分にとっている。
- オ 一時保育を利用する子どもと通常保育を利用する子どもとの交流に配慮している。

- a
- b
- c

備考

III.地域の住民や関係機関等との連携

1. 地域の住民や関係機関・団体との連携

(1)保育所の役割を果たすために必要な地域の関係機関などの情報を収集し、それを職員が共有している。 *

- a
- b
- c

(2)子どもの健康状況について、医療機関などに相談や連携ができる体制になっている。*

- a
- b
- c

(3)育児相談などに際して、児童相談所などの専門機関に相談や連携ができる体制になっている。*

- a
- b
- c

(4)小学校との間で、小学生と園児とが互いに行事等で交流する機会を設けており、職員間の話し合い、研修などの機会がある。*

- a
- b
- c

(5)民生・児童委員や自治会等の地域団体と連携した取り組みを行っている。*

- a
- b
- c

(6)近隣の人々に保育について理解を得たり、協力を依頼するなどの配慮をしている。 *

- a
- b
- c

(7)中高生などの保育体験を受け入れるに当たっては、受け入れの意義や方針が全職員に理解されている。 *

- a
- b
- c

備考

園児の健康管理に関しては、年2回実施している園医検診・歯科検診の機会を活用し、医療機関との適切な相談・連携を図っている。小学校との連携では、地域の保育施設と小学校との協議の場を設け、情報共有を行った。今後も継続して関係機関との共通認識を深め、日々の保育実践へと反映させていく。

2. 実習・ボランティア

(8)実習生を受け入れるに当たっては、受け入れの意義や方針が全職員に理解され、実習担当者も決められている。 *

- a
- b
- c

(9)ボランティアを受け入れるに当たっては、受け入れの意義や方針が全職員に理解され、受け入れの担当者も決められている。 *

- a
- b
- c

備考

IV.運営管理

1 基本方針

(1)保育所の保育理念及び基本方針が明文化されている。 *

- a
- b
- c

(2)保育理念や基本方針を職員、保護者、関係者に周知するための取組みを行っている。 *

- a
- b
- c

備考

職員には会議や施設内研修、指導計画立案時に行っている。保護者への周知では、ホームページやパンフレット、重要事項、行事の挨拶時に行えている。

2 組織運営

(5)職員の研修ニーズを把握し、職員に適切な研修機会を確保している。 *

- a
- b
- c

(3)保育の質の向上や改善のための取組みを、職員参加により行っている。 *

- a
- b
- c

(4)保育の内容について、職員参加により、定期的に自己評価を行っている。 *

- a
- b
- c

備考

正職員を中心に外部研修への参加機会を確保し、受講後は園内研修にて伝達講習を行うなど、学びの共有に努めている。今後は、研修内容が全職員へより効果的かつ平易に伝わるよう、発表方法の工夫や資料作成のサポート、共有の時間の確保など、組織的な支援体制を整えていくことが課題と考えている。

3 守秘義務の遵守

(6)守秘義務の遵守を周知している。 *

- a
- b
- c

備考

個人情報保護規程を整備し、施設内研修等を通じて全職員への周知と遵守を徹底している。今後はデジタルデバイスの普及に伴うリスク管理として、携帯端末等の使用方法や情報管理のあり方について、さらなるリテラシー向上と指導監督を強化していく。

4 情報提供・保護者の意見の反映

(7)情報提供に当たって、わかりやすく伝える工夫や配慮を行っている。 *

ア 園だより、クラスだより等を園児の保護者以外にも配布している。

イ パンフレットや要覧等を保護者以外にも配布している。

ウ 園外向けの掲示板やポスター等で、園の様子や行事などについて、地域の人に見てもらえるようにしている。

エ ホームページや情報誌など誰もが安易に入手できる形態の広報媒体がある。

オ 園の運営状況等についての情報を求めに応じて公開できるようにしている。

a

b

c

(8)保育の実施に当たり、保護者から意見を聞くための取り組みを行い、その意向に配慮している。 *

a

b

c

備考

試食会実施時のアンケートや、日々の個別連絡帳などを通じて保護者の方々の意見収集に努めている。ご意向やご要望に対しては、必要に応じて速やかに職員間で周知・共有し、適切な対応や保育への反映を図っている。

5 安全・衛生管理

(9)事故や災害に適切に対応できるマニュアルがあり、全職員に周知されている。*

- a
- b
- c

(10)事故防止のための具体的な取り組みを行っている。*

- a
- b
- c

(11)調理場、水周りなどの衛生管理は、マニュアルに基づいて適切に実施されている。*

- a
- b
- c

備考

事故や災害対応、衛生管理に必要な各種マニュアルを整備しており、年1回以上は職員間で定期的な確認や見直しを行っている。日々の業務への落とし込みや、緊急時に全職員が迅速かつ適切に行動できるよう、今後も、定期的な訓練や研修を通じた周知徹底に努める。